

科目名(和)				科目名(英)		
技術と倫理				Technology and Professional Ethics		
科目区分	単位数	選択・必修	授業形態	授業番号	開講時期	講義室
一般科目	1	必修	講義	000302	6月～7月、9月	

### 1. 科目の概要

#### 【担当教員】

三井 均、岡本 秀穂

#### 【教育目的、授業目標】

将来、専門技術者として仕事をしていく上で必要になる「工学倫理」についての理解を身につける。

#### 【指導方針】

講師の実務経験にもとづき、事例研究を中心に毎回グループ討議による学生参加型の授業をこころみる。

### 2. 授業計画等

	【テーマ】	【内容】
1回	科学技術倫理序論	ドキュメンタリー・ビデオなどにより科学技術の役割と倫理の関係を学ぶ。
2回	モラル問題	モラルの基準、倫理規定の意義などを通じて工学倫理についての理解を深める。
3回	法規と倫理	法規と技術者、組織と技術者を通じて企業での技術者の立場と倫理について考える。
4回	品質問題、安全問題	事例研究を通じ、品質問題と安全問題についての理解を深める。第1回レポート課題提示
5回	環境問題	公害問題、地球環境問題について学び、技術者倫理の立場からの対応を考える。
6回	リスクと倫理	リスクマネジメントに関わる倫理問題を学ぶ。
7回	知的財産所有権問題	知的財産の概略と、それに関わる技術者倫理問題を学ぶ。
8回	望まれる科学技術者	全体をまとめ、最近の技術者倫理に関わるトピックスを取り上げる。最終レポート課題提示

#### 【テキスト】

・中村 収三・(社)近畿化学協会工学倫理研究会 共編著  
「技術者による実践的工学倫理—先人の知恵と戦いから学ぶ」第3版、化学同人刊、2013  
(全員がテキストを持っていることを前提に、課題を出したり、グループ討議を行ったりするので、毎回必ず持参すること)

#### 【参考書】

・授業の中で紹介する。

### 3. その他

#### 【履修条件】

特になし。

#### 【オフィスアワー】

授業日半日しか来学しないので特には設けませんが、授業終了後、講義室で、自由に話しに来てください。

#### 【成績評価の方法と基準】

2回のレポートで評価を行い、毎回のグループ討議での討論態度を評価して加点する。出席は前半2回、後半2回は必須。

#### 【関連科目】

特になし。

#### 【注意事項】

特になし。